第27講　敬語の種類・本動詞と補助動詞

PART1　敬語の種類・本動詞と補助動詞

★敬語の種類＝「　　語」・「　　語」・「　　語」

★「本動詞」と「補助動詞」

本動詞…動詞本来の意味・用法がある動詞。
補助動詞…動詞本来の意味・用法が薄れ、他の語に付いて意味を添える動詞。

（例）「ございます」

おめでとうございます。

お釣りがございます。

★補助動詞の型　※「　　」確認

①「　　」＋[V]

※形容詞・形容動詞＋[V]のVは、「あり」の意味の動詞

（例）書き[**奉る**]

②「　　」＋「　　」＋[V]

（例）書きて[**侍り**]

③「　　」＋「　　（　　）」＋

> 「　　」の意味の動詞
> **おはす**
> **おはします**
> **侍り**
> **候ふ**

（例）女房に（て）[**候ふ**]

第27講 PART1 確認問題

① 「敬語の種類」に含まれないものを次の中から選べ。

ア 修飾語　イ 丁寧語　ウ 謙譲語　エ 尊敬語

② 空欄にあてはまる語として最も適当なものを、次の中から選べ。

動詞のうち、動詞本来の意味・用法が薄れ、他の語に付いて意味を添える動詞を［　　］という。

ア 自動詞　イ 他動詞　ウ 本動詞　エ 補助動詞

③ 傍線部が補助動詞であるものとして最も適当なものを、次の中から選べ。

ア 昔、惟喬親王（これたかのみこ）と申す皇子（みこ）おはしましけり。

イ 年ごとの桜の花ざかりには、その宮へなむおはしましける。

ウ 東（ひむがし）の五条に、大后（おほきさき）の宮おはしましける西の対（たい）に、…

エ 右の馬の頭（かみ）なりける人を、常に率（ゐ）ておはしましけり。

④ 傍線部が補助動詞でないものを、次の中から選べ。

ア　いづれの御時にか、女御、更衣あまたさぶらひたまひける中に、…

イ　世になく清らなる玉の男皇子（をのこみこ）さへ生まれたまひぬ。

ウ　御使ひには、かの大蔵の大夫をぞたまへりける、…

エ　先帝（せんだい）の四（し）の宮の、御容貌（かたち）すぐれたまへる。

⑤ 傍線部のうち、動詞の種類（本動詞か補助動詞か）が他と異なるものを次の中から選べ。

ア　菩提講（ぼだいかう）に詣（まう）でて侍りしかば、…

イ　験方（げんがた）の行なひも捨て忘れてはべるを、…

ウ　なにがし寺（でら）といふ所に、かしこき行（おこ）なひ人はべる。

エ　同じやうなるもののさまかなと見侍りしに、…

第27講　PART1　確認問題　解答

〔解説〕

① 「修飾語」は、他の文節と意味の結び付きがあり、その文節を詳しく説明する文節。「敬語の種類」には含まれない。

② 補助動詞とは、「朝見たまへむ。」という文の「たまへ」のように、本来の動詞の意味や用法が薄れて、他の語に付いて意味を添える動詞。ここでは、動詞「たまふ」の本来の意味が薄れ、「見」という語に謙譲の意味を添えている。

③ 「おはしまし」は、動詞「おはします」の連用形。エは、「動詞」＋「て」＋「おはします」の型になっており、補助動詞である。

④ ア・イ・エは、いずれも「動詞」＋「たまふ」という型になっており、補助動詞である。

⑤ ウのみ「行なひ人（＝行者）」が「はべる」という形で、丁寧の本動詞。他は「用言」（＋て）＋「侍（はべ）り」の形で、丁寧の補助動詞。

〔解答〕

① ア　② エ　③ エ　④ ウ　⑤ ウ